

第二次大山町自転車活用推進計画(案)への パブリックコメントの実施結果

縦 覧 期 間

令和8年4月20日から

令和8年5月19日まで

第二次大山町総合計画基本計画（案）へのパブリックコメントの実施結果について

- 1 実施期間 令和8年3月17日から令和8年4月15日まで
- 2 意見及び提案者数 1人
- 3 意見及び提案件数 6件
- 4 意見等の内容及び意見等に対する本町の考え方

番号	項目又は頁数	意見等の内容	意見等に対する本町の考え方	提出意見を踏まえた計画案の修正の有無
1	p.26	<p>バリ島(インドネシア)在住中に自転車活用関連の観光事例を現地で直接調査・体験した経験を持ちます。以下の提案は個人の見解として申し上げるものです。</p> <p>【意見1】大山スイング(フォトジェニックブランコ)の設置について(R8年度から即時実施可能)</p> <p>バリ島ウブドの「Bali Swing」は2017年の開設以来、SNS(インスタグラム等)を通じて世界的なインスタ映えスポットとして普及し、多くのインバウンド観光客を集めています。私は現地でこのコンテンツを直接体験・研究し、大山のゲレンデ斜面への適用可能性を確認しました。</p> <p>日本海を望む大山ゲレンデ斜面にフォトジェニックブランコを設置することで、インバウンド客・国内女性客・カップル層への強力な集客コンテンツとなり得ます。設備費用は数十万～100万円程度(地元建設業者による施工)で抑えられる見込みです。体験料を1,000～2,000円程度に設定することで初期費用の早期回収が可能であり、「大山スイングを目指すサイクリングルート」としてサイクルツーリズムとの相乗効果も期待できます。令和8年度から即時実施可能な施策として、本計画への積極的な位置づけを提案します。</p>	<p>ご意見いただいた具体的な各種事業については、今後の施策展開の際に参考とさせていただきます。</p> <p>大山は、冬季のスキー・スノーボード利用の促進のみならず、グリーンシーズンにおける誘客をエリア全体で図っていくことが重要と認識しております。大山スキー場の中長期計画では、「目玉集客施設」を検討の一つに挙げており、体験等を絡めた集約コンテンツの造成に向けて、ご提案の「大山スイング」を含めて総合的に検討してまいりたいと考えます。</p>	無

2	p.27	<p>【意見2】エンド・オブ・トリップ施設の整備について(バリ島の失敗事例から学ぶ)</p> <p>インドネシアでは 2005 年に始まった「Bike to Work」運動が一時ブームとなりながら衰退しました。主な原因の一つは、走行後のシャワー室・更衣室・ロッカー等「エンド・オブ・トリップ施設」の欠如です。観光地での受け入れ設備が整っていないと、サイクリストの継続来訪を阻害します。本計画においても、主要観光拠点(大山寺周辺・各サイクリング拠点等)へのシャワー室・更衣室・コインロッカーの整備を明示的に位置づけることを提案します。</p>	<p>ご意見いただいた具体的な各種事業については、今後の施策展開の際に参考とさせていただきます。</p> <p>本町のサイクリングルートの終着点の一つである大山寺地区においては、大山ナショナルパークセンターにシャワー室・更衣室・コインロッカーが備えつけられております。一方、その他の施設においては、宿泊機能を有する施設や浴場を除き、当該設備を有する観光拠点は無いものと認識しております。</p> <p>本計画においては、主要なサイクリングルート上における集いの場づくりを検討することとしており、ご提案の設備・機能は重要なものと考えます。施設整備の検討においては、域内に所在する主要観光拠点の立地状況等を考慮しながら、観光地全体として方針を定めて進めてまいりたいと考えます。</p>	無
3	p.27	<p>【意見3】「やさしい宿」認定制度の創設について</p> <p>つくば霞ヶ浦りんりんロードでは、高価なスポーツバイクを客室に持ち込める宿泊施設を「やさしい宿」として認定する制度が設けられ、68施設が登録されています(2022年時点)。大山町においても同様の認定制度を創設し、スポーツサイクリスト層の高単価宿泊客の誘致を提案します。</p>	<p>「やさしい宿の制度」について、p.27「実施する取組Ⅲ-2-③サイクリストの受入環境整備」において記載します。</p> <p>鳥取県においては、「鳥取県サイクリストにやさしい宿」の認定制度が創設されており、町内においても5店舗が登録されています。「サイクリストの受入環境整備」の取組により、今後も登録店舗の増加に向けて、本町では引き続き同制度の活用に関して、事業者への周知等を図ってまいりたいと考えます。</p>	有
4	p.25	<p>【意見4】大山ウェルネスマウンテントレイルの定期開催について</p> <p>高齢化率41%という町の実態を踏まえ、フレイル予防・健康増進を目的としたトレイルウォーキング大会を定期開催(5月・9~10月、年2回)することを提案します。50代以上の特別割引を設定し、「大山山麓サイクリング+トレイルウォーキング」の複合コンテンツとして造成することで、健康寿命の延伸とスポーツ交流人口の増加を同時に図ることができます。</p>	<p>ご意見いただいた具体的な各種事業については、今後の施策展開の際に参考とさせていただきます。</p> <p>本町の資源を活用したイベント・ツアー造成にあたっては、観光事業者等とご提案内容を共有し、収益性・実現性等を踏まえて、個々に判断したいと考えます。</p>	無

5	p.26	<p>【意見5】マウンテンリトリートプログラムの造成について</p> <p>近隣宿泊施設と連携した2泊3日の滞在型ウェルネスリトリート(サイクリング+温泉+地産地消食事等)を造成することで、1人あたり3~5万円の単価滞在を実現できます。通年実施が可能であり、宿泊消費の底上げに貢献します。</p>	<p>ご意見いただいた具体的な各種事業については、今後の施策展開の際に参考とさせていただきます。</p> <p>本町の資源を活用したイベント・ツアー造成にあたっては、観光事業者等のご提案内容を共有し、収益性・実現性等を踏まえて、個々に判断したいと考えます。</p>	無
6	p.26	<p>【意見6】名和スポーツランド(ボルダリング)とのサイクリング連携について</p> <p>名和スポーツランドのクライミングウォール(ボルダリング施設)は、体幹・バランス感覚を鍛えるスポーツとして自転車競技との親和性が高く、「サイクリング+ボルダリング」の複合体験プランを造成することで、ファミリー・若年層への新たな訴求が可能です。「大山アドベンチャーライド」として、サイクリング+ボルダリング+大山スイングを一体的に楽しめるルート・プランの設計を提案します。</p>	<p>ご意見いただいた具体的な各種事業については、今後の施策展開の際に参考とさせていただきます。</p> <p>本町の資源を活用したイベント・ツアー造成にあたっては、観光事業者等のご提案内容を共有し、収益性・実現性等を踏まえて、個々に判断したいと考えます。</p>	無